


知財の広場


情報提供制度

特許庁から「情報提供の手引【特許編】」と「虎の巻」が公表されています。情報提供制度は、特許出願に係る発明が新規性・進歩性を有していないこと等についての情報を審査官・審判官に対して提供することができる制度です。審査官・審判官は審査・審理の際に、提供された情報を確認し、判断の参考としています。オンライン（電子出願ソフト）を利用した情報提供の手続きも可能です。審査に有益な情報を提供していただくことは、より迅速・的確な審査に役立ちます。



特許の情報提供 虎の巻


特許出願に拒絶理由があることを審査官へ情報提供できます！



採用率はナント7割！


- 誰でも（匿名可能）・無料
- 提出された情報はすべて審査官が確認
- 新規性、進歩性などの情報提供ができる

※拒絶理由が通知された案件のうち提供された情報が利用された割合



審査官と連絡はとれません

- 審査のタイミングを尋ねたり審査をとめたりはできません
- 提供した情報について電話などで説明はできません




オンライン提出がオススメ

- 最短1日で審査官に届く！紙提出は3週間以上
- オンラインでも匿名OK

添付ファイルのプロパティに作成者情報を残さないように気をつけてください

- 「提出の理由」はPDFで作成すると改行・下線などの文字装飾や表を使える

長文になるときもPDFを添付する形だと審査官としても読みやすい



提出はナルハヤで

- 気づいたタイミングですぐに提出！

補正後に提出しようと考えていると直ちに特許査定になるかも・・・

※審査請求から最初の審査通知までの期間は特許庁全体の平均でも4か月（2023年度）

最初の審査通知をする2〜3か月前に情報が提出されているとそれを基に拒絶理由を構成しやすい

通知や査定をする直前に提出されても使いにくい

- J-Plat PatのRSS機能で案件情報を確認できるよ

※RSSリーダーで審査請求、補正書、拒絶理由など更新が自動で受信できるよ

いろんな情報を提出できる



- 提出する情報のタイトルや発行日がわかる表紙や奥付も添付
- 動画の内容を情報提供するときは参照箇所の複数枚のキャプチャ画像を提出

動画ファイルそのものは提出できないよ

電子的に探しにくい・入手にくい情報は審査官も見にくいのでありがたいな

技術常識や周知技術を示す情報も重要するな

参照箇所に下線や枠囲いをしてくれるとどこを見ればいいのか一発でわかるな

手続の詳細な方法は「手引」をごらんください「提出の理由」の記載例も載っています！

迅速・的確な権利付与、安定で適切な権利範囲の特許権の設定にご協力をお願いします

重要！「提出の理由」はこう書く

以下のポイントをおさえよう

- 拒絶理由の論理構成を簡潔・明確に説明

- 審査基準や拒絶理由の記載ぶりが書き方の参考になるよ
- 提出する情報と比較して本願に有利な効果がないことを説明するのも有効だね

- どれくらい説明が必要かはケースバイケース

- 提出された情報を読むと簡単に理解できることなら参照箇所の明示で十分かな
- 論理付けが複雑な場合は丁寧に説明すると審査官に意図が伝わりやすいよ

- 対比表で一致点・相違点や論理構成が適切かを確認することもある

提出書類に対比表を添付するのもいいね



情報提供の手引【特許編】



特許庁

審査第一部 調整課
審査基準室 PAA2A10@jpo.go.jp
2025年2月

出典：特許庁

URL: <https://www.jpo.go.jp/system/patent/shinsa/johotekyo/index.html>

INPIT 滋賀県知財総合支援窓口

吉井映滋（支援担当者）